

STEP

1

使う前に各部を点検してください



正しく安全に使うために調理前にご確認ください。

各部の点検を怠ると、圧力がかからない、または目詰まりをおこして内部の圧力が異常に高くなってしまふなどのトラブルにつながる危険があります。毎回必ず点検をおこなってください。

● センターバルブ

1 セーフティカバーをはずし、バルブソケットの穴に付着物が詰まっていないかどうかを確認してください。



2 圧力表示ピンとバルブキャップが緩んでいないかを確認します。

▲もし圧力表示ピンが緩んでいたら必ずドライバーでしめ直してください。

3 バルブキャップを指で引き上げ、ひっかかりがなくスムーズに動くかどうかを確認してください。



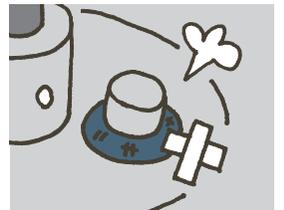
● 安全弁

1 フタの裏側から安全弁を指で押し上げて動くかどうかを確認してください。(安全弁のバネはフタの裏側についています。)



2 目詰まりや付着物などはないかを確認してください。(安全弁が汚れている場合は、フタの裏側から安全弁を押し上げながら水を流してください。)

3 安全弁のゴム部分が劣化していないかを確認してください。



〈圧力表示ピン〉

取り外し方

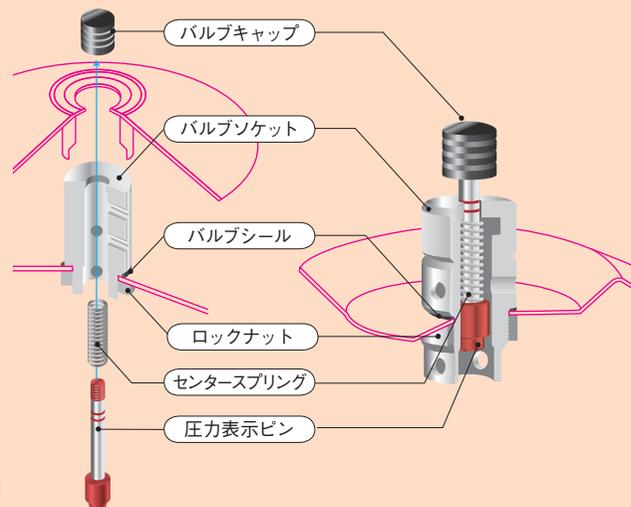
バルブキャップを手で押さえ、フタの裏側から圧力表示ピンをドライバーなどで回して圧力表示ピンからバルブキャップを取り外してください。

組み立て方

1 元のように組み立てるときには、圧力表示ピンにセンタースプリングをセットして、再びドライバーなどでしめてください。

2 このときバルブキャップがしっかりと圧力表示ピンに取り付けられているかを確認してください。

3 組み終えたら、上記3の通りスムーズに動くかどうか確認してください。



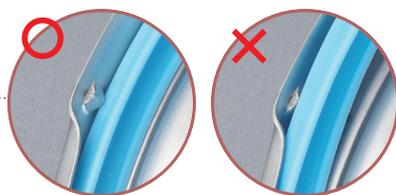
▲バルブソケット・ロックナットは取り外さないでください。

● ゴムパッキング

- 1 亀裂がないか、劣化していないかを確認してください。
- 2 フタ内側が汚れていないか確認し、フチに沿うようにセットしてください。



- 3 フタのフチにある三角形の突起物の下にゴムパッキングをセットしてください。



- 4 安全ロックスライダの先端がゴムパッキングの外側と接触するようにセットしてください。ゴムパッキングがかぶらないように注意してください。



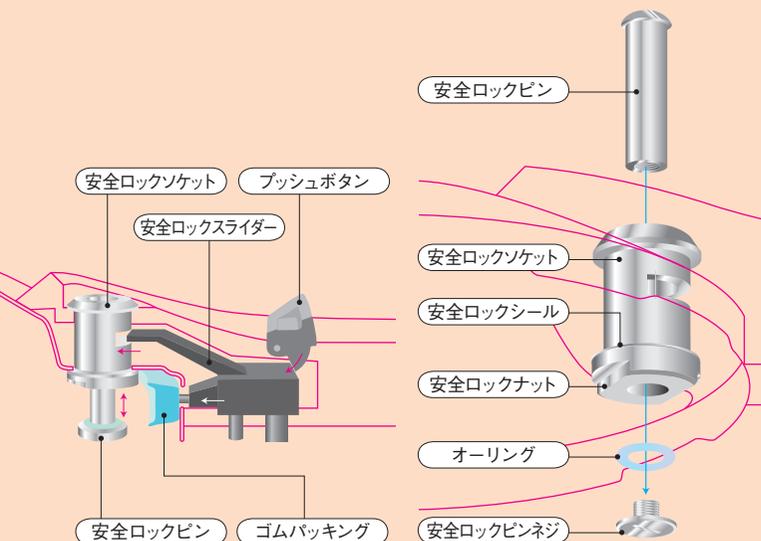
● 安全ロックシステム

- 1 フタの裏側から安全ロックピンを押し上げて動くかどうかを確認してください。
- 2 安全ロックピンが緩んでいないか確認してください。
- 3 フタハンドルのプッシュボタンを押して、安全ロックソケットの穴を上からのぞき、安全ロックスライダが動いているか確認してください。



● ハンドル

鍋本体のハンドルとフタのハンドルにガタつきがないかどうかを確認してください。もし緩んでいたら、必ずドライバーでしめ直してからご使用ください。



〈安全ロックピン〉

取り外し方

フタの裏側から安全ロックピンネジを指で固定し、表側からドライバーで安全ロックピンを回して取り外してください。



▲ オーリングをなくさないように気をつけてください。

組み立て方

- 1 元のように組み立てるときは、フタの表側から安全ロックピンを入れ裏側からその安全ロックピンにオーリングをはめ、安全ロックピンネジを指で軽くしめます。
 - 2 安全ロックピンネジを指で固定し、表側から安全ロックピンをドライバーでしめます。
- ▲ 安全ロックソケット・安全ロックナットは取り外さないでください。